

社会科学学習指導案

I 単元 特色ある地域の人々の暮らし ―世界遺産と富岡市―

II 考察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(6) 県（都，道，府）の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県（都，道，府）の特色を考えるようにする。

ウ 県（都，道，府）内の特色ある地域の人々の生活

エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

(2) 培われる主な資質・能力

- ・ 県（都，道，府）の様子に関心をもち，意欲的に調べ，自分たちの住んでいる県（都，道，府）の特色を考えようとする態度
- ・ 県（都，道，府）の様子から問題を見出し追究し，県（都，道，府）の特色について考え，表現する力
- ・ 県（都，道，府）の様子について，地図や資料を活用して，必要な情報を集めて読み取ったり，まとめたりする力
- ・ 県（都，道，府）の特色を理解する力

(3) 教材や学習対象の価値

本単元では，富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子を対象として学習を行う。その価値は，以下のとおりである。

富岡市には，明治期からの我が国の近代化に重要な役割を果たした旧製糸場がある。都市計画の進展に合わせ，歴史ある建造物が失われることが少なくない我が国において，この旧製糸場は地域の人々の努力によって長い間，保護されてきた。このことにより，2014年に群馬県内の絹産業遺産群とともに世界遺産に登録された。

この旧製糸場をまちのシンボルとして保護し，中心市街地の観光や商業の資源として活用している富岡市の人々の生活を調べることは，文化財などの地域の資源を保護・活用している地域やそこで暮らす人々の生活の特色を具体的に考えることができる。また，人々が互いに協力して特色あるまちづくりに努めていることから，他地域から観光客が訪れ，地域の活性化・発展が図られていることも理解できる。

さらに，今後の富岡市の発展に対する地域の人々の声を基に，地域活性化を持続することの困難さを考えることは，自分たちの住んでいる地域社会の在り方を捉え直し，

特色あるまちづくりへ協力することの大切さについての関心を高めることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「特色ある地域の人々の暮らし ―群馬県のガイドブックを作ろう―」で、群馬県内の市町村の特色を考え、県内の場所による市町村の様子の違いを理解する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「特色ある地域の人々の暮らし ―織物のまち 桐生市―」において、地域の資源としての織物工業等と人々の生活との関わりを考え、伝統的な工業等を受け継ぎながら、現在もそれらの保護や発展のために工夫や努力をする桐生市の人々の生活の特色を理解する学習をしてきた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・ 伝統的工芸品の桐生織や歴史ある街並みの保護・活用への取組を意欲的に調べ、桐生市の人々の生活の様子に興味・関心を高めてきた。このような子どもたちが、旧製糸場のある富岡市の人々の生活の様子について自ら問題を見出して追究できるように、富岡市を訪れる観光客の変化が分かる資料などを基に、疑問点や調べたいことを話し合う活動を設定する。
- ・ 桐生市が織物のまちと呼ばれている理由について、伝統的工芸品の桐生織や歴史ある街並みと人々の生活とを関連付けて考えられるようになってきている。このような子どもたちが、旧製糸場を保護・活用する富岡市の人々の生活と地域の活性化・発展とを関連付けて考えられるように、特色あるまちづくりを行う人々の取組とそのよさを図に表しながら話し合う活動を設定する。
- ・ 伝統的工芸品の桐生織や歴史ある街並みの保護・活用への取組に関わる問題解決に必要な情報を収集したり、収集した情報をまとめたりできるようになってきている。このような子どもたちが、富岡市の人々の取組について資料から必要な情報を読み取ったり、まとめたりできるように、追究する観点ごとに情報を整理できる図を提示する。
- ・ 桐生市の人々が、伝統的な工業等を受け継ぎながら現在もそれらの保護や発展のために工夫や努力をしていることを理解してきている。このような子どもたちが、富岡市の人々が、旧製糸場を保護・活用しながら、互いに協力して特色あるまちづくりをし、地域の発展に努めていることを理解できるように、観光客などで賑わう近年の商店街の様子や店舗数の変化が分かる資料を提示する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 富岡市を活性化している人々の工夫について予想し、予想したことを分類・整理することを通して、追究する観点を決定して学習の見通しを立てる。

2 準備 旧製糸場で行われているイベントやボランティア活動，商店街の様子や新しい特産品についての資料

3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想をして調べる観点を決めれば，これまでのように調べていくことがはっきりとするな。 <p>2 課題について予想し，発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧製糸場を会場にしてコンサートを開いて，人を集めているのかな。 ・商店街の建物にも古さを出して，観光客を集めているのかな。 ・「イベントに利用」「建物を古く見せる」などがキーワードになりそうだな。 <p>3 予想のキーワードを分類し，追究する観点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イベント」と「体験コーナー」，「ボランティア」，「商店街の建物」と「新しい商品」の3つに分けたのか。 ・工夫している場所で考えると「ボランティア」は旧製糸場でしていることだから，「イベント」や「体験コーナー」と同じ仲間にしてもよさそうだな。 ・仲間分けしたまとめりから「旧製糸場でしていること」と「商店街でしていること」と観点を考えたよ。 <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧製糸場とまわりの商店街で人を集める工夫をしていると予想できたな。 ・旧製糸場より今の商店街に魅力がないとまちは元気にならないと思うよ。ぼくは，「商店街の取組」から調べるよ。 	<p>○「まちを元気にするための人々の工夫を予想し，調べる観点を決めよう」という学習の見通しをもてるように，共通課題を確認し，本時の活動を問いかける。</p> <p>☆個別に予想ができるように，旧製糸場で行われているイベントやボランティア活動，商店街の様子や新しい特産品の資料を提示する。</p> <p>○学級全体で人々の工夫についての予想を共有できるように，予想から考えられるキーワードを問いかける。</p> <p>☆出し合った人々の工夫についての予想を整理できるように，短冊に書かれたキーワードを分類するよう促す。</p> <p>☆旧製糸場や商店街での取組などの追究の観点を見出せるように，分類した予想のまとめりごとの要点を考えるよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">富岡市の活性化に向けた人々の工夫について予想したことを基に，自分なりに観点を記述したり，発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;"><ノート・発言（2）></p> </div> <p>○富岡市の活性化に向けた人々の工夫についての学級の予想を確認できるように，話し合った内容を振り返るよう促す。</p> <p>☆次時に追究する観点を決定して学習の見通しが立てられるように，共通課題と観点との結び付きの大きさを問いかける。</p>

指導と評価の計画（全7時間）

単元	特色ある地域の人々の暮らし ―世界遺産と富岡市―			
目標	歴史ある建造物の旧製糸場を保護・活用しながら、互いに協力して地域を発展させるための特色あるまちづくりに努めている富岡市の人々の生活の様子を理解する。			
評価 規準	<p>(1) 富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について、関心をもち意欲的に調べたり、地域の発展のために特色あるまちづくりに協力することの大切さを考えたりしようとしている。</p> <p>(2) 富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について、課題や予想、学習計画を考えたり、旧製糸場を保護・活用した特色あるまちづくりと富岡市の活性化とを関連付けて考えたりして、表現している。</p> <p>(3) 富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について、観点に沿って調査したり、資料を活用して必要な情報を集めたりして、調べたことをまとめている。</p> <p>(4) 富岡市の人々は、歴史ある建造物の旧製糸場を保護・活用しながら、互いに協力して特色あるまちづくりをし、他地域から観光客を招き入れるなどの地域の発展に努めていることを理解する。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は、研究に関わる手立て）	評価項目<評価方法（観点）>
課題を つかむ	1	○富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">共通課題 旧製糸場のある富岡市の人々は、どのような工夫をしてまちを元気にしているのだろう。</div>	○富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について疑問点や調べたいことが考えられるように、約15年前と現在の商店街の様子、世界遺産への認定、観光客数の変化が分かる資料を提示する。	◇富岡市の活性化に向けた人々の生活の様子について、疑問点や調べたいこと記述したり、発言したりしている。 <ノート（1）>
	1	○富岡市の活性化に向けた人々の工夫について予想し、学習計画を立てる。（本時） <調べる観点> ・旧製糸場での取組 ・商店街での取組 など	☆追究の見通しが立てられるように、旧製糸場で行われているイベントやボランティア活動、商店街の様子や新しい特産品が分かる資料から、問題に対する予想や追究する観点を話し合う活動を設定する。	◇富岡市の活性化に向けた人々の工夫について予想したことを基に、自分なりに観点を記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（2）>
追究する	2	○観点に沿って富岡市の活性化に向けた人々の取組について調べる。	○富岡市の活性化に向けた人々の取組について具体的に調べられるように、旧製糸場の保護・活用や周辺のまちづくりに関する図書や新聞などの資料コーナーを設置する。	◇富岡市の活性化に向けた旧製糸場や商店街での人々の取組などを調べている。 <ノート（3）>
	1	○調べたことを基に、富岡市の人々の取組とまちの活性化との関係について交流する。	☆富岡市の人々の取組とまちの活性化との関係について、自分なりの考えを捉え直すことができるように、小集団での他者との交流を基に、問題に対して再考する活動を設定する。	◇富岡市の人々の取組とまちの活性化との関係について、他者の考えを基に、自分の考えを見直し記述している。 <ノート（2）>
	1	○富岡市を活性化させている人々の工夫について話し合う。	☆地域の発展のために富岡市の人々が互いに協力し、旧製糸場を中心とした特色あるまちづくりに努めていることを理解できるように、学級全体での他者との交流を基に、問題に対して再考する活動を設定する。	◇複数の観点から、富岡市の人々による旧製糸場を中心とした特色あるまちづくりによって地域の活性化・発展が図られていることを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（4）>
まとめる	1	○これからの富岡市や自分たちのまちづくりについて大切なことを感想にまとめる。	○地域活性化を持続することの困難さや、まちづくりなどの活動に協力することの大切さに気付けるように、富岡市の人々が抱えている不安や自分たちのまちづくりについての課題が分かる資料を提示する。	◇自分たちの住んでいる地域の発展のために、特色ある地域社会の形成に協力することの大切さを感想として記述している。 <感想（1）>